

おおまち

No.153

平成26年5月1日

市議会だより

発行／大町市議会
編集／市議会だより編集委員会
〒398-8601
長野県大町市大町3887番地
TEL.0261-22-1139
市議会ホームページ
<http://www.city.omachi.nagano.jp/>



市内入園式にて

おもな 内容

3月定例会	2	議長の一言	14
12名が一般質問	5	意見交換会アンケート結果	15
委員会審査報告	11	東小学校6年生傍聴の感想	16
1月臨時会	13	北小学校6年生傍聴の感想	17
審議結果	13	先進地視察報告	18
請願・陳情審査結果	14	編集後記	18

平成26年度 一般会計当初予算を可決

162億2,000万円、前年比2.4%増

討論の末 14対3で可決

平成26年

3月定例会

◆反対討論◆

松島吉子 議員.....
 ケーブルテレビの加入率が低い。市臨時職員待遇改善。こども医療のさらなる充実など求める。ごみ処理施設建設は市民との対話不足、住民合意なしでは禍根が残る。

大和幸久 議員.....
 ごみ処理施設建設は温泉郷の景観影響などによる観光問題、矢沢水源問題などで不適切。

◆賛成討論◆

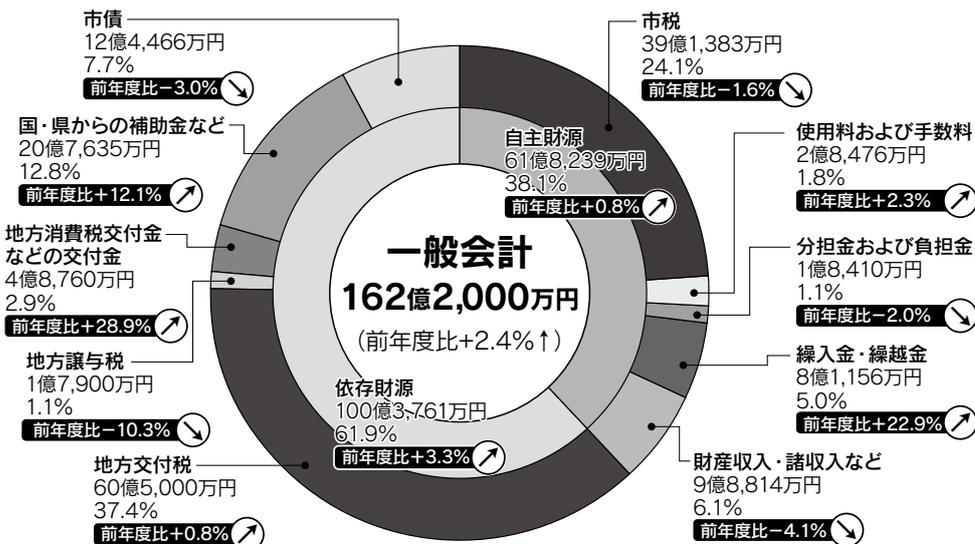
荒澤靖 議員.....
 市債を増やさず、重点施策（定住、産業振興、教育・防災）に取り組む予算であり、着実な執行を期待する。

二條孝夫 議員.....
 ごみ処理施設建設は住民の悲願であり安全性、環境調査を十分行い推進を求める。

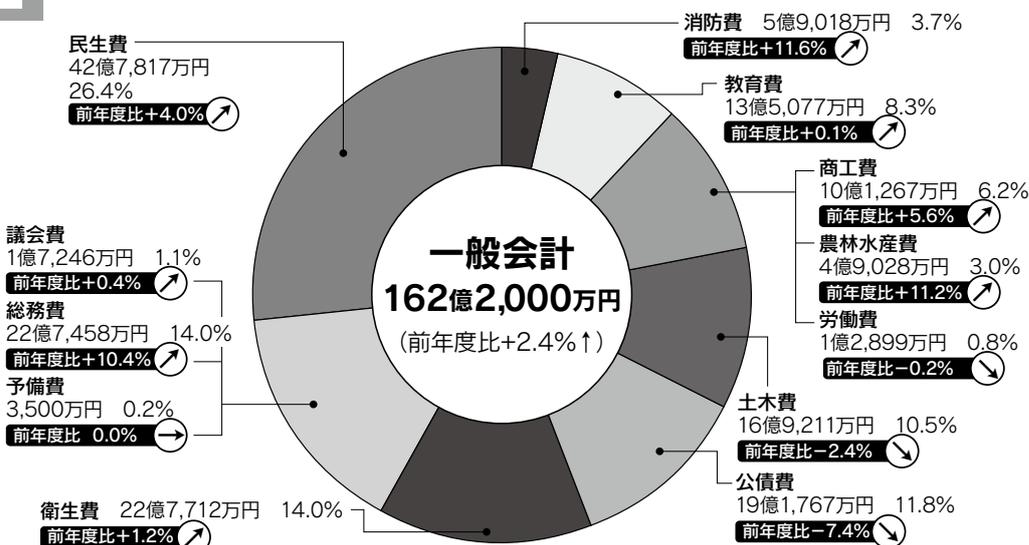
歳入

自主財源：市が国などに依存しないで自主的に確保できるお金
 依存財源：市が自主的に収入せず、国や県などから配分されるお金

地方交付税：市の財政力に応じて、国から交付されるお金
 市税：市民税や固定資産税など納めていたお金
 国・県からの補助金：事業に対しての国または県からの補助金
 市債：事業を行うために市が銀行などから借りるお金



歳出



平成26年3月定例会は、2月25日から3月14日の18日間の会期で行われました。
 人事案件1件、事件案件3件、条例案件14件、予算案件19件の37案件が審議されました。慎重審査の結果すべての議案を可決・同意しました。

平成26年度の一般会計予算を **市民一人あたりに換算すると、約55万2,000円**になります。

1人あたりの内訳は、

福祉・子育て支援に 145,585円 	行政運営に 84,464円 	保健・医療・ごみ処理に 77,490円 	借金返済に 65,280円 
道路整備や除雪に 57,582円 	農業・商工・観光振興に 55,535円 	教育などに 45,966円 	消防・防災対策に 20,084円 

人口 29,386 人で計算（平成26年3月末現在、外国人登録を含む）

各会計別予算規模

会計名		平成26年度	対前年度比 (%)	
一般会計		162億 2,000万円	+ 2.4%	
特別会計	特別会計	国民健康保険	34億 3,294万円	+ 2.7%
		後期高齢者医療	3億 3,746万円	+ 8.9%
		公営簡易水道事業	2億 5,862万円	+ 0.3%
		温泉宿泊施設事業	4,583万円	+ 63.7%
	企業会計	水道事業	8億 1,069万円	+ 0.6%
		温泉引湯事業	1億 3,461万円	+ 27.8%
		公共下水道事業	20億 5,057万円	+ 44.5%
		農業集落排水事業	1億 7,716万円	+ 68.1%
	病院事業	66億 2,879万円	+ 15.0%	
特別・企業会計小計		138億 7,673万円	+ 14.3%	
総計		300億 9,673万円	+ 7.6%	

※会計別に1万円以下の端数があるため、内訳と小計は一致しません。

一般会計予算の動向

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
歳入・歳出	156億 600万円	158億 4,600万円	162億 2,000万円

一般会計の主な重点プロジェクト事業



リニューアルした山博展望台からの眺め

- 制度資金保証料補給ほか
.....5,236万円
(産業振興事業)
- 有料道路利用者負担軽減
.....336万円
(定住促進事業)
- 八坂・美麻地区定住促進住宅建設
.....6,630万円
(過疎対策事業)
- 新婚生活応援商品券
.....360万円
- 鷹狩山恋人の聖地モニュメント設置事業
.....320万円
(結婚支援事業)
- 住宅リフォーム助成 (9月申請分まで)
.....3,000万円
- マイホーム取得助成
.....2,000万円
(住宅環境事業)
- コミュニティスクール推進事業
.....397万円
- 電子黒板導入
.....9万円
(教育環境整備事業)
- 地域資源産業育成
.....5,978万円
地サイダー開発・農業振興助成・など
- 扇沢駐車場整備
.....1,280万円

- 若一王子神社公衆トイレ建設
.....3,000万円
(観光都市づくり)
- 消防団デジタル無線整備
.....7,116万円
(災害対策事業)
- 山岳博物館ライチョウ舎建設・飼育
.....4,900万円
(ライチョウ飼育事業)
- 国民健康保険運営支援
.....6,070万円
(地域福祉事業)
- 高度医療、耐震改修等繰出金
.....7億9,755万円
(大町病院再生事業)

その他の議案

大町市議会議員定数16人に改正する条例制定、討論の末、賛成多数で可決

◇反対討論◇ 平林英市議員

議会の役割は、行政の施策と予算について市民を代表してチェックすること。定数削減で住民の声が反映されにくくなつては、民主主義の否定につながり、議会の役割と機能が低下する。

◇賛成討論◇ 眞嶋強志議員

1年8ヵ月15回の会議で総合的に議論された結論であり、議員活動を活発にし少数精鋭の議員活動に努める。

市民の関心事で2人減が妥当である。



一般質問

ここが聞きたい ただしたい

3月定例会では、12名の議員が個人質問を行いました。
以下はその要旨です。(この欄は、質問議員の原稿どおり掲載しています。正式な記録は会議録、または市議会ホームページ議会録画中継をご覧ください)



入園式ーわたしは何組かな？ー

個人質問



市長の総括と3期への意欲を聞く
荒澤 靖

質問 市財政のコントロールについて、ハード事業の総括と評価はどうか。

答弁 必要なハード整備を進めながら実質公債費比率は13.3%、将来負担比率を64.2%と大きく改善できた。また地方債残高も175億円から150億円まで25億円も削減できた。今後も財源確保に努め、有効に利用するため、事業の選択と集中を進めていく。

質問 市民が将来、ふるさと大町から流失しないため、自立した個人の郷土愛や隣人愛を育むような、具体的な施策の考え方はどうか。

答弁 人と人との絆や地域の絆、心の豊かさなどの価値観を重要視して、愛着と誇りを持てるまちづくりを進めていく。「住んで良かった」と実感できるまちづくりこそが重要と考える。

質問 生活費を生み出せる環境づくりが、新年度予算にどのように反映されているか。

答弁 既存企業の進捗や、産業立地推進員の配置による働く場の確保や、観光誘客の観点からの、北陸新幹線延伸キャンペーン等である。一般会計予算は162億円余で、前年度比で2.4%の増とした。市内建設業者への工事発注を含め、市民に対して行政サービスを通じて行う財政支出は「市民の生活を支える予算」となっている。

度の活用や、隣近所の支えあいによって対応してきたが、今後の課題について検討し、適切な対応ができるよう努めていく。

質問 ライチョウ飼育舎建設に4千9百万円が計上されているが、トキやコウノトリのように、世界に発信できる活動にすべきだ。また、本来の博物館活動の復活を願っているが、市の考えは。

答弁 県環境保全研究所と協力協定を締結して学術的な探求を進め、山岳博物館が先頭に立ち、ライチョウ飼育をリードする役割を果たしていきたい。

質問 豪雪対策の中でも高齢者の独り暮らしが増加している地域への具体的な対策はどうか。

答弁 雪かき支援隊制



ライチョウ研究の成功を願う



市街地循環バス 運行について

中牧 盛登

質問 6月から運行を開始する市街地循環バスは、ザ・ビッグ及び西友などを含めた運行経路となつているが、このような市街地周辺をぐるぐる回るバスを運行する目的は何か。

答弁 現在の市民バス運行経路は、全ての路線が大町駅から各地区へ放射線状に運行している。これらを市街地循環バスでつなぎ、市街地活性化や利便性の高い移動手段の確保を目的としている。

質問 市街地循環バスの利用促進についての考えは。

答弁 広報おおまちへの掲載や市のホームページ、ケーブルテレビ等を活用して周知を図るほか、報道機関・福祉団体等への情報提供に努める。

質問 バスの特徴は。

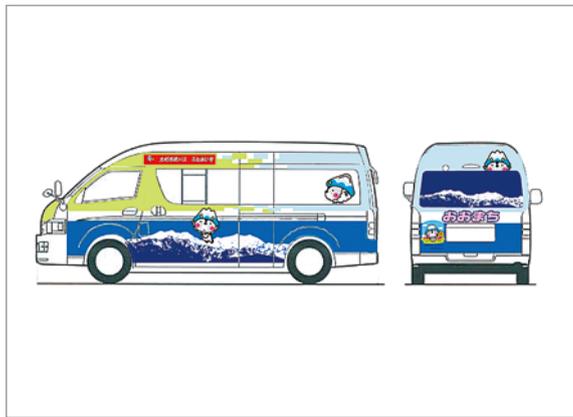
答弁 ワンボックスタイプの車両で乗車定員は13名、デザインは、おおまびよんを活用するなど、親しみと愛着を持つていただけるデザインを考えている。

質問 一便あたりの平均乗車人数は何名を目標としているか。

答弁 数値目標は考えていないが、多くの市民に利用していただきたい。

質問 市街地を一周する時間はどのくらいか。

答弁 市街地を約40分で運行する。



6月から運行する市街地循環バス

質問 市街地循環バスを運行する便の間隔はどのくらいか。

答弁 市街地循環バスは、右まわりと左まわりを、それぞれ平日は1日5便ずつ、土曜日は4便ずつ運行する。

詳細な時刻表を5月1日号の広報おおまちと共に、各戸に配布する。便の間隔は、最短で48分間、最長で1時間37分である。

北陸新幹線関連事業について

質問 来年3月に長野・金沢間が開業する北陸新幹線延伸への対応について、大町市の魅力ある観光商品としてどのようなものがつくられたのか。

答弁 大町市の魅力ある観光商品はほぼ出来上がりつつあるが、具体的に発表できる段階ではない。



大町を 元気にするために

高橋 正

質問 定住促進のための戦略的・魅力的なまちづくりとはどういうことか。

答弁 当市の特性を生かし、様々な観点から総合的に取り組む。住みたいまち・住み続けたいまち・帰りたいまちのテーマを設定し、施策体系を立てる。

質問 大町市の体質改善をするための施策が必要ではないか。

答弁 これまでの取り組みを点検し、将来展望に立つて様々な魅力を向上させることが、地域の体質改善につながると認識している。

質問 地サイダーの開発事業について、その業務内容はどのようなものか。

答弁 黒部ダム破砕帯の水を使う。（仮称）地サイダー製作委員会を創設し、製作・販売・PRを進める。

質問 現在認識している資源の活用ではどのようなものがあるか。

答弁 北アルプスの雄大な景観や清涼感、豊富で良質な地下水などを地域資源と捉えている。農業・観光業・発電事業などは、地域資源そのものである。市内の企業・団体から商品開発などの相談を受けたものについては、支援をしていく。

質問 北陸新幹線関連事業に対する市の思い入れはどうか。

答弁 アルペンルートを起点とした連絡協議会を組織し、新年度からエー

ジェントへのプロモーションを展開していく。新幹線延伸により、入客数も増加することが期待される。積極的な観光客の呼び込みを図っていく。

質問 観光協会が法人化した場合、観光事業について、行政と民間がうまくすみ分けることが重要だと思ふが。

答弁 行政は観光戦略とインフラを含む環境整備を担当し、観光協会は誘客・宣伝や、観光イベントなどを担当する。行政と観光協会がともに協力して進めることが重要である。観光協会の法人化では、観光協会が何を目標とし、どのような組織体制にするのか、検討結果を踏まえ、今後役割のあり方を整理していかなければならない。



ワイン用ぶどうを大町の特産に



質問 安曇病院の新棟建築に国の補助は7億円、さらに自治体の支援が8億円。自治体病院が同条件の場合、国の補助が同額で、他の自治体からの支援なしでは対等ではない。大町病院に厚生連から医師を派遣するよう要請したらどうか。今回の当初予算で大北圏内の被災者を受け入れる収容施設を建設するが、対等の負担を4町村に求めたらどうか。両病院の協定書で、具体的な目的と役割は何か。将来に向けた大北医療圏の構想は。

答弁 安曇病院の入院患者を見ると大町市民が相当多く利用しており、一定の協力をせざるを得ない。公的病院と自治体病院は設置目的の違いもあり単純に比較できない。厚生連からの医師派遣は、医師不足の現状では困難。災害被災者収容施設の基本は市民を対象とする施設。将来の大町病院の大規模改修などでは、近隣の町村に協力体制を要請するよう検討したい。連携協定は昨年から具体的な懇談を重ねている。両院が医療体制の充実を図り、他医療圏への流出を抑え、救急医療を圏域内で完結することが大北医療圏の将来構想の基本である。

内水面水産業振興を

質問 市の水産振興事業の予算は貧弱で、伝統と在来魚の生態系を守れる

と考えるか。釣り客誘客は観光事業に大きな役割を果たしており、誘客宣伝を大いに広げるべきだ。淡水魚の加工事業を進め

市のブランド商品として広く宣伝することは考えられないか。

答弁 財政面では、ブラックバス捕獲に19万2千円、中綱湖のブルーギル駆除に20万円、市漁連への負担金15万円、淡水魚ふ化及び放流事業補助金45万円、ブラックバス釣り大会負担金など合計99万7千円支援しているほか、中綱湖ヘラブナ釣り大会に別途40万円助成。当市は仁科三湖や多くの溪流を有する地域で、釣りを含め水に親しむフィールドとして今後も宣伝に努め、豊かで清らかな水で育ったおいしい淡水魚の普及・宣伝に努めていく。



改築に市の補助を求める安曇病院



質問 平成19年3月定例会一般質問において、私は中信の他市と比較し、大町市の臨時職員の待遇が悪く、改善するように質問、提案した。市の将来を担う子ども達を育てる大切な仕事についていただいているのに、生活が不安定になる状況はできる限り改善すべきである。今回、本人が希望すれば、3年とか、5年とかの任期付き職員として採用することを提案する。

答弁 少子化が進行することが見込まれる中、保育園の適切な運営や受け入れ児童及び保護者へのきめ細やかな対応という面から、優れた職員の確保に向け、任期付き職員の問題を含め、適正な職員体制のあり方や、処遇改善について、引き続き検討を行っていく。

質問 担任をもっている人は月額の臨時職員と、担任をもっていない人は日額と差をつけることは問題ではないか。

答弁 今回賃金改定を行ったことで、新しい人が応募してくれ、成果がでたと考えている。引き続き行っていく。

質問 現状はどうなっているのか。

答弁 実証実験の成果を基に八坂堆肥センターを改修して、生ごみ堆肥化施設を併設し、本年2月1日から運営を開始した。将来展望としては、堆肥センター最大処理量の日量1・5トン、

か。日量1・5トンはいつ達成されるのか。

答弁 明確な目標年度はない。なるべく早く達成したい。温泉郷の宿泊施設からは今年2軒が協力してくれることになっている。

質問 年間の委託料は、決まっている。早く1・5トンに近づけないと、無駄な委託料を払っていることになる。できあがる堆肥は高上がりになるし、焼却時のトン当たり3万円削減の利益が減る。事業が遅れていることで無駄な税金を払うことになる認識はあるのか。

答弁 指摘はごもっともである。



スピードが求められる堆肥化事業



部活朝練・観光資源・住みたい田舎ベスト5

眞嶋 強志

質問 中学校運動部の朝練習について。

回答 市教委は、基本事項について市内全中学校が同一の方針で取り組む。各学校は、全教職員が自校の部活動を見直し、共通理解を図る。社会体育活動は、学校管理の部活動に一本化する。各部は運営計画を作成、学校は部活動運営全体計画を作成し、生徒・保護者に活動の予定など説明を行う。外部指導者の委嘱は「指導者実施要領」に基づき学校長が委嘱する。「スポーツ文化活動運営委員会」を組織し、現在、各中学校の策定と検討を進めている。

質問 スポーツ大会を観光資源とする考えについて。一例として、大町アルプスマラソン大会を観光資源として活用してはどうか。



殊勲・敢闘・技能 三賞

期待ができる。スポーツ施設の活用は、観光誘客の有効な手段の一つである。

質問 宝島社「住みたい田舎」ベストランキング5位の結果を、今後の定住促進施策にどのように活用するのか。対外的PR強化方法について。

回答 移住者を歓迎する市民の気持ちや、市民協働の取り組みが評価されたものと考ええる。移住を考える首都圏の人に、当市に対する好感度の向上や関心度に寄与すると期待をする。今回のランキングに満足することなく更なる施策の充実に努める。情報発信は重要な要素であるので、市民への発信強化と理解を促進する。JR大系線や市民バスに車内広告を掲出して周知を強化。市内宿泊施設や店舗に定住促進のポスター掲示。イベント開催時には、移住相談ブースを設ける。



新年度予算について

和田 俊彦

質問 消費税引き上げに伴う経済対策について、考えは。

回答 4月以降、駆け込み需要の反動に加え、物価の上昇・料金改定等、景気の減退を懸念する報道も見られることから、直接的な経済効果が期待できる建設分野に関して、25年度以上の事業量を確保した。予算の執行については、四半期ごとの発注目標を設定し、効果的に推進していく。観光産業においても、誘客宣伝や施設整備に力点を置くとともに、地域商品券事業・市街地循環線バスの運行等、市内での消費拡大を目指していく。また、経済対策の持続性という観点から、ある程度の景気回復が実感できるまで、粘り強く継続的に取り組んでいく必要があると考えている。

質問 県道長野大町線「日高トンネル」の通行料負担軽減と無料化について聞きたい。



地方経済はどこまで議論されたか

等の理由から困難としている。

質問 26年度、実施設計に入る市街地から農具川に向けたバイパス管渠の規模、流雪溝機能について聞きたい。

回答 市街地において抑制することを目的として、俵町・大黒町・白塩町付近を通過し農具川に放流する、整備延長900mの新設バイパス管渠の測量と実施設計を実施する。雨水管渠の内径は1m四方の断面を想定している。流雪溝としての機能については、降雪時の、特に機械による除雪作業が困難な中心市街地において、有効な施設であることから、利用が可能か、冬季間の水量確保や水利関係、施設の管理、構造などについて検討していく。



**重要文化財に光をあて
観光・学習に生かして**

松島 吉子

質問 藤尾覚音寺は昔から「藤尾の観音さま」と呼ばれ、地元・近隣はもちろん遠くの人からも尊ばれ、親しまれている。千手観音・持国天・多聞天像とともに国の重要文化財に指定されており、市の宝として後世に残したい。ぜひ光をあてて多くの人に観ていただきたいが、市はどんな方針でいるか。

回答 市内には覚音寺を含め国宝・重要文化財が6か所、11件存在し、県市指定文化財が96件ある。市の重要な財産であり、教育の貴重な題材として、また観光振興の観点から積極的に普及PRに努めると共に、管理保護を推進していく。

質問 市内の小中学校の総合学習に文化財巡りを取り入れてはどうか。

回答 新任の教師には、覚音寺等市内の文化財を訪問し、解説している。小学6年生の歴史を学ぶ学習の際には市内の教材を使った授業を教師と一緒にやっている。文化財を大切にして、郷土愛を育てていきたい。

各種予防接種の充実を

質問 肺炎球菌ワクチンの予防接種は、県下19市のうち9市が助成している。市の考えはどうか。

回答 小児は無料で、有料だった成人は10月から省令改正等がされ、費用の3割程度が地方交付税措置される見

込み。一部個人負担が生じるが、残りは市で補助する方向で検討している。

質問 市として風しんの予防接種補助と、県が

抗体検査を無料で行うことの周知を積極的に周知してほしい。

回答 抗体検査は詳細が示され次第、周知。予防接種の公費負担は抗体検査や各市の状況を見て検討したい。

質問 水痘・おたふく風邪・インフルエンザ・ロタウイルスについて、国の動向と市の対応は。

回答 水痘は10月から定期接種化され、個人負担は無料になる見込み。おたふく風邪・ロタウイルスは定期接種の検討がされている。インフルエンザは65歳以上の個人負担が千円。市としては接種率向上に努める。



山里にたたずむ覚音寺



**企業会計の変更点と
ねらいは**

大厩 富義

質問 地方公営企業会計制度は、行政と経営の分離を目的として、水道事業など収入がある事業は自治体が設置した企業とみなし、一般行政とは別の会計制度となっている。これまで大町市では、水道・温泉引湯・病院の3事業が適用されていたが、26年度予算からは、新たに公共下水道・農業集落排水事業が加わり5事業となった。また、今予算から同会計制度の大幅改正が行われ、単なる会計処理の変更だけでなく、「健全経営のあり方」や「適正な市民負担のあり方」が問われることとなった。今制度改正による変更点と、ねらいについて聞きたい。

回答 今回の制度改正は、企業会計の考え方を取り入れ、地方公営企業の特性等を適切に反映するよう改正され、市では26年度予算から適用した。会計基準の主な変更点は、「みなし償却」を廃止し、補助金等については「長期前受金」として負債に計上、新たに退職給付引当金が義務化された。また、資金繰りを明確にするため「キャッシュ・フロー計算書」の作成が義務化された等である。この会計制度の導入により、経営状況の更なる透明化が図られ、今後の健全経営の在り方について検討していく基盤が整備された。



下水処理の大町浄水センター

い有収水量が減少している。今後は老朽化した水道施設の計画的な更新が必要になる。従って、今後の現金資産の減少は避けられないと考える。温泉引湯事業では、企業債の借入はないが、施設の更新に概算事業費で17億円近い金額が必要であり、今後料金の改定の検討が必要。下水道事業では、法の適用に関わらず独立採算が求められており、その経営は使用料収入で賄われる。今制度改正により経営上の問題点がより把握し易くなり、経営健全化に向けた対策に活かす。大町病院は、制度の改正により見かけ上の財務状況が悪化しているが、病院経営の実態に変化を生じたものではない。今後も地域ニーズに即した病院経営を行う。



医療・介護等の連携で 地域包括ケアの構築を

太田 昭司

質問 稲城市などは、介護ボランテニアを行った方に対しポイントを付与し、たまったポイントに応じて換金が行える「介護支援ボランテニア制度」を導入している。ぜひ大町市も、この制度を取り入れてはどうか。

答弁 ポイント制の介護支援ボランテニア制度は、全国で約50の自治体が導入している。この制度により、高齢者がボランテニアに参加するとポイントを付与される。そのポイントは保険料やサービス利用料等に活用でき、介護保険に係る負担軽減につながる。他市の取り組みを参考にし、制度の導入を検討していく。

質問 地域包括ケアシステムの中でも医療は非常に重要な立場にある。大町病院も、地域包括ケアシステムのあり方について、今から独自に検討を進めていく必要があるのでは。

答弁 大町病院は、新年度から回復期の病棟設置の検討を進めていく。また居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、老健施設「虹の家」を併設している。これらの機能を有機的に結びつけ、住民が住み慣れた地域で病状に応じて医療と介護を循環しながら受けられる「地域完結型」の医療・介護の構築を目指していく。

質問 地域包括ケアというと、介護

保険の対象となる高齢者のみについてのシステムと捉えられがちだ。しかし、同じサービス、ケアを必要としているという

ことでは、障がい者の方々もまったと同じだ。障がい者の施設でも問題となつていのは看護師不足である。このことにも、ぜひ市として取り組むべきと思うがどうか。

答弁 地域包括ケアシステムは、介護保険事業計画の柱ではあるが、理念においては、対象者は高齢者に限定されるものではなく、障がい者・子供・地域の全ての住民を含む。障がい者福祉施設の運営基準において配置を定めている看護師の確保は容易ではない。今後は個々の事業所、関係者の協力、連携により解消していく。



第1回の多職種連携会議



ごみ焼却場・源汲候補地の問題点

大和 幸久

重要な観光資源「北アルプスを背景にした里山の景観」に影響はないのか

質問 先の、北アルプス広域連合議会で、市長は「旅行エージェントからの聞き取り調査の結果、その影響は考えにくいとの意見をいただいた」と報告した。これについて、市としてどのように評価しているか。

答弁 観光協会だけを対象にした調査は行わない。

質問 大町温泉郷観光協会から「一番の問題は、実際に訪れる一般観光客のイメージダウンであり、観光客に人気がなくなれば旅行エージェンツも、お客を送り込まなくなるのではないかと」と言う指摘があった。これについて市はどのような見解を持ち、どのような対策を考えているか。

答弁 影響は与えないと考える。

質問 広域連合は、1月にごみ焼却場の煙突と同じ高さのバルーンをあげた。温泉郷観光協会でも、里山の景観の中にどのように見えるか、などについて調査をしている。これについて、市は調査をする意思があるのか。

答弁 調査はしない。

質問 矢沢水源に及ぼす影響はないのか
質問 12月定例会で市は「表流水は直接矢沢水源には届いていない」と答弁した。矢沢水源の表流水を構成する

水はどのようなものか。
答弁 雨水と雪解け水で構成される。
質問 雨水や雪解け水、すなわち、表流水は大気に触れている。これが、いったん地下に潜り、再び湧き出した水を取水している。これが事実である。

答弁 表流水は大気に触れている。
質問 昨年9月定例会で市長は「地下水がそのまま大気に触れることなく管渠で配水池に運んでいる。直接大気が水道水に与える影響は考えられない」と答弁したが間違いで、撤回すべきだ。

答弁 取水部分では触れていない。
質問 ごみ焼却排気ガスが水源や地下水へ及ぼす影響について生活環境影響調査をしない理由を説明して欲しい。
答弁 必要と認められれば調査する。



景観に影響は？大和作成イメージ

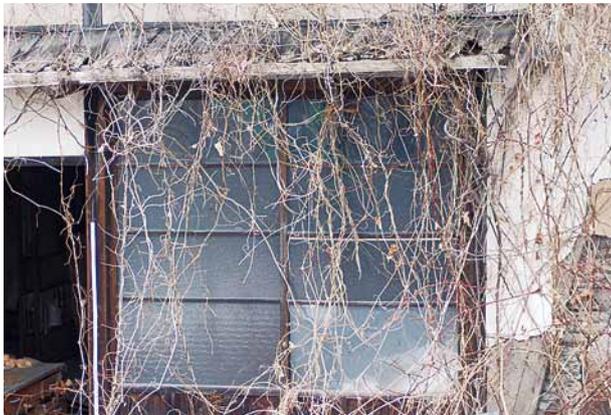


条例制定化も視野に入れ、根拠法令の整備を進める。
質問 今回の空き家問題について、大町市としてはつきりと一歩前に踏み出すということでしょうか。いわゆる、行政用語でいう「検討する」というような「やらない」という意味ではないのか。そのところをはつきりと市民の皆様に対して答弁を願いたい。

答弁 この問題については、自治体に権限がなく手をこまねいていたところだ。危険家屋が周辺環境に様々な悪影響を与えていることを重く受け止める市として可能な対策を進めるよう具体的な検討に着手を始めた。議会の協力と理解が大切なので、是非とも協力をお願いしたい。

質問 市全体の住宅戸数は1万5500戸であり、そのうち長期間使用されていないと思われる実質的な空き家は1、170戸である。空き家の適正な管理は所有者の責任でなされるべきなのは当然であるが、管理が不十分な空き家は地域の問題となり、ゴーストタウンにしないという自治会の皆様の強い思いが9月以降の陳情として表れてきたものだ。国も法制化に向けて動き始めた。是非とも前向きに検討して、市民の皆様の不安を解決してもらいたい。大町市も問題解決に向けて踏み出すべきだ。

答弁 指摘のとおり、空き家が管理不全となった時に防災・防犯・生活環境の悪化・景観の悪化などの問題が生じる。市として新年度から新たに「老朽危険空き家」に対する施策を講じる。自民党の空き家対策議員連盟は、防災上の問題となっている空き家について所有者に自主撤去を促す「空き家対策措置法案」をまとめ、議員立法を目指している。同法は①自治体の空き家への立ち入り調査権を認めて除去修繕を命じることができる②個人情報空き家対策に限って内部利用できる③自主撤去した時には固定資産税を軽減する、としているが、市は国の法を待たず独自の



管理不全の空き家対策が重要

委員会審査報告

総務文教委員会

市長、副市長、教育長の退職金の減額決まる

議案第6号「特別職の職員等の退職手当に関する条例の一部を改正する条例制定」は、3名の退職金を減額する内容について、委員から「減額分はいくらか」と質疑があり、行政側から「4年任期でおよそ500万円である。条例制定は任期終了後にする選択もあり検討したが、理事者の指示により任期終了前の施行を決め、今回の改正となった」との説明がありました。

市制施行60周年・合併10年記念事業予算について

議案第25号「平成26年度一般会計予算」に企画費950万円、美麻・八坂支所費に各250万円の関連予算があるが、委員から「それぞれバラバラな費用のかけ方をせずに、連携して互いに経済効果上がるように願いたい。また合併後の現状を考えたり、将来の地域づくりを改めて考える機会にしてもらいたい」との意見がありました。行政側から「市制施行60周年は、単にお祭りにせず1年をかけてまちづくりについて考える機会にするなど、趣のある事業に配慮して取り組みたい」との説明がありました。

山岳博物館のライチョウ飼育について

委員から「国や県の支援はあるか。また何年間の継続を考えているか」との質疑があり、行政側から「現在国の補助金はないが、ライチョウ保護増殖計画が実行段階になった時に別途要請をする。計画は5年ごとに評価・検証をして、次の目標設定をする」との説明がありました。



ライチョウ舎建設予算承認される

委員会審査報告

社会厚生委員会

市営駅前駐車場の上限料金を設定

議案第13号「市営駐車場条例の一部を改正する条例制定」は、行政側から「一般利用者の使用料については、駐車時間に応じて料金設定しており、長時間にわたる利用では、時間に比例して使用料がかさむため、駅からJRや急行バスを利用して県外等に行かれる市民や、立山黒部アルペンルートや登山口へ向かう観光客などから、利用を敬遠される状況にあった。このような状況を改善し、市民や観光客の負担を軽減するため、一般的な日帰り旅行における駅前駐車場の利用時間を15時間と想定し、それを超えた場合には使用時間によらず、使用料の上限を1、500円とするものである」との説明がありました。他の委員から「現在の利用状況と改正後の利用見込み」についても質疑がありました。

特定健診の自己負担が無料に

議案第26号「平成26年度国民健康保険特別会計予算」は、委員から「新年度から2力年、特定健診の自己負担が無料となるが、市民への周知方法」について質疑があり、行政側から「各家庭への健診の申込書と併せたチラシの



利用しやすくなる駅前駐車場

配布、広報紙への掲載及びマスコミへの情報提供を実施しており、また、大型店でのチラシ配布等も行っているが、窓口を一本化するなど市民により分かりやすくするため検討をしていく」との説明がありました。他の委員から「特定健診の受診率向上に向けた今後の取り組み方法」についても質疑がありました。

産業建設委員会

平成26年度一般会計予算

商工労政課所管事項の審査では、委員から「地域資源開発事業の概要について」質疑があり、行政側から「市の知名度を向上させることを目的に『地サイダー』の特産品化支援を行う。破碎帯の水を原料として、アルペルト開通後に採水し、工場でボトリング、市内福祉施設でラベル貼りを行う予定。破碎帯の水を使用していることをアピールすることにより、商品の付加価値をつけていきたい」との説明がありました。

観光課所管事項の審査では、委員から「北陸新幹線延伸キャンペーン負担金について」の質疑があり、行政側から「旅行エージェントへの広告掲載を通じて、大町の旅行商品を販売することを目的としている。具体的には、旅行パンフレットに大町温泉郷等を掲載して店頭で置くように願います。新幹線駅からアルペンルートの間での滞在・周遊を促し、観光消費額が多くなる宿泊につなげたいと考えている」との説明がありました。

下水道所管事項の審査では、委員から「合併浄化槽の普及率について」の質疑があり、行政側から「浄化槽処理区域人口7、195人中、4、746



耐震補強工事予定の蓮華大橋

人が合併浄化槽を利用しており、水洗化率は66%」との説明がありました。建設課所管事項の審査では、委員から「橋梁長寿命化工事に関し、工事内容について」の質疑があり、行政側から「市内に348ある橋梁の修繕計画に基づき国の交付金を受けて実施。新年度は、蓮華大橋の舗装工事に着手」との説明がありました。慎重審査の結果、平成26年度一般会計予算は賛成多数で可決しました。

1月臨時会

3,000万円追加、補正予算可決

1月22日、1月臨時会が開催されました。

提出された案件は、人事案件1件、予算案件1件の計2件でした。人事案件は、教育委員会委員藤井一男氏任命について、予算案件は、歳入では国の合併支援補助金3,000万円の計上、歳出では八坂地区定住促進住宅建設事業5,593万7千円の計上が主な内容です。人事案件は全会一致、予算案件は賛成多数で、それぞれ原案どおり同意・可決しました。

提出案件の審議結果と各議員の賛否一覧

賛否が分かれた議案

■3月定例会

○…賛成 ●…反対

議案番号	案 件	議決の結果	議員名																	
			1 勝野 富男	2 眞嶋 強志	3 平林 英市	4 松島 吉子	5 小林 治男	6 太田 昭司	7 堀 堅一	8 二條 孝夫	9 神社 正幸	10 和田 俊彦	11 高橋 正	12 岡 秀子	13 大和 幸久	14 八木 聡	15 竹村 武人	16 荒澤 富義	17 大庭 盛登	18 中牧 盛登
議案第25号	平成26年度一般会計予算	可決(賛成多数)	○	○	●	●			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	平成26年度公営簡易水道事業特別会計予算	可決(賛成多数)	○	○	●	●			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	平成26年度公共下水道事業会計予算	可決(賛成多数)	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議事第1号	大町市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定	可決(賛成多数)	○	○	●	●			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■1月臨時会

議案第2号	平成25年度一般会計補正予算(第5号)	可決(賛成多数)	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-------	---------------------	----------	---	---	---	---	--	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

全会一致で可決・同意された議案

■3月定例会

議案第3号	市道路線の廃止及び認定	議案第19号	平成25年度公共下水道特別会計補正予算(第3号)
議案第4号	職員定数条例の一部を改正する条例制定	議案第20号	平成25年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
議案第5号	特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例制定	議案第21号	平成25年度公営簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
議案第6号	特別職の職員等の退職手当に関する条例の一部を改正する条例制定	議案第22号	平成25年度温泉宿泊施設事業特別会計補正予算(第2号)
議案第7号	特別会計条例の一部を改正する条例制定	議案第23号	平成25年度水道事業会計補正予算(第2号)
議案第8号	基金条例の一部を改正する条例制定	議案第24号	平成25年度温泉引湯事業会計補正予算(第2号)
議案第9号	税条例の一部を改正する条例制定	議案第26号	平成26年度国民健康保険特別会計予算
議案第10号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定	議案第27号	平成26年度後期高齢者医療特別会計予算
議案第11号	大町山岳博物館条例の一部を改正する条例制定	議案第29号	平成26年度温泉宿泊施設事業特別会計予算
議案第12号	公共物管理条例の一部を改正する条例制定	議案第30号	平成26年度水道事業会計予算
議案第13号	市営駐車場条例の一部を改正する条例制定	議案第31号	平成26年度温泉引湯事業会計予算
議案第14号	公共下水道事業区域外流入受益者分担金に関する条例制定	議案第33号	平成26年度農業集落排水事業会計予算
議案第15号	水道事業及び公営簡易水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例制定	議案第34号	平成26年度病院事業会計予算
議案第16号	消防団条例の一部を改正する条例制定	議案第35号	平成25年度一般会計補正予算(第7号)
議案第17号	平成25年度一般会計補正予算(第6号)	議案第36号	公平委員会委員の選任
議案第18号	平成25年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	議事第2号	雇用の安定を求める意見書
		議事第3号	T P P (環太平洋連携協定) 交渉に関する意見書

■1月臨時会

議案第1号	教育委員会委員の任命
-------	------------

請願・陳情審査結果

採択

- 陳情第1号 水路の整備等について
(源汲自治会長)
- 陳情第2号 道路の整備等について
(中花見自治会長)
- 陳情第3号 道路・水路の整備等について
(二口町自治会長他2名)
- 陳情第4号 道路・水路の整備等について
(中綱自治会長)
- 陳情第5号 道路・水路の整備等について
(海の口自治会長)
- 陳情第6号 道路・水路の整備等について
(借馬自治会長)
- 陳情第7号 道路・水路の整備等について
(稲尾自治会長)
- 陳情第9号 国土交通省告示第15号の履行に関する陳情(一般社団法人長野県建築士事務所協会会長他1名)
- 陳情第10号 耐震診断・耐震改修に関する陳情(一般社団法人長野県建築士事務所協会会長他1名)
- 請願第11号 雇用の安定を求める意見書の採択を求める請願(日本労働組合総連合会長野県連合会大北地域協議会議長)
- 陳情第12号 道路・水路の整備等について
(野口自治会長)
- 陳情第13号 道路・水路の整備等について
(西原自治会長)
- 陳情第15号 TPP決議の実現を求める意見書の採択について(大北農業協同組合代表理事組組長)
- 陳情第16号 道路・水路の整備等について
(北原町自治会長)
- 陳情第17号 道路・水路の整備等について
(菅根原自治会長)
- 陳情第18号 道路・水路の整備等について
(大原町自治会長)
- 陳情第19号 道路・水路の整備等について
(松崎自治会長他1名)
- 陳情第20号 関田地区の生活基盤整備に関する陳情(関田自治会長)
- 陳情第21号 道路・水路の整備等について
(宮本自治会長)
- 陳情第22号 道路・水路の整備等について
(山下自治会長他4名)
- 陳情第23号 道路・水路の整備等について
(館之内自治会長)
- 陳情第24号 通学路の安全確保に関する陳情(大町市立大町南小学校PTA副会長他1名)
- 陳情第25号 道路・水路の整備等について
(二ツ屋自治会長)

不採択

- 陳情第8号 最低制限価格の設定に関する陳情(一般社団法人長野県建築士事務所協会会長他1名)

継続審査

- 陳情第14号 常盤地区(清水区・下一区の一部)中学校生徒の冬期間通学方法に関する陳情(仁科台中学校PTA会長他1名)

議長の一言 3月定例会を終えて

市議会議員の定数を2人減員することが決まりました。今の議員定数 18 人が 16 人となり、次回の一般選挙から実施されます。

市民の皆様との意見交換会の折に、議員の数について意見があったことから、公募の市民2人を交え、議員定数等検討委員会を設置して検討を重ねてまいりました。様々な意見がありましたが、本会議において、16 人とすることに決定しました。

議員の数を減らすと市民の声が十分に市政に届かなくなるのではないかと、との意見もありましたが、議員一人一人がアンテナを高くして、市民福祉の向上と市政の発展のために活動していく所存です。

市民の皆様のご理解をお願いします。



市議会を生中継しています

市議会本会議の様態を、大町市ケーブルテレビと大町市ホームページで生放送しています。またケーブルテレビでは、一般質問の様態を再放送しています。ホームページでは録画をご覧いただけます。

(人)

開催地区	計
参加人数	65
アンケート回収数	19

1. 開催時期について	計
(1) 現行どおり決算議会である9月定例会後でよい	17
(2) その他の時期がよい(月頃)	1
回答なし	1

2. 開催日時について	計
(1) 現行どおり平日の夜間でよい	18
(2) 平日の昼間がよい	0
(3) 休日の昼間がよい	1
(4) 休日の夜間がよい	0
(5) その他	0

3. 開催場所及び回数について	計
(1) 現行どおり各地区1箇所、全6回程度の開催でよい	18
(2) 市域全体で1回程度の開催でよい	0
(3) 開催場所や回数をもっと増やしてほしい	0
回答なし	1

4. 運営方法、テーマについて

意見交換会の運営方法、希望するテーマについてご意見、ご要望等あればご記入ください。

- ・初めての話し合いで健康づくり教室について意見を出しましたが、各自治会長、また委員が身軽になるよう考えてほしい。
- ・議会報告等、発表する議員によって、わかり易い人と、書いてあるのを読むだけの人とまちまち。自分の発表するものを、わかり易いように発表してほしい。
- ・テーマについては、病院事業赤字という話ではなく、良い医者を揃え、経営を黒とするための取組み等、現実の問題について資料を揃え説明をして欲しい。
- ・議員の方から問題を住民に投げかけてもらいたい。
- ・自由討論でよい。
- ・市全体への意見交換も必要であるが、その地区の現状に即した課題を提起して集中的意見交換の場に。

5. その他

本日のご感想、その他市議会に対するご意見、ご要望等ありましたらご記入ください。

- ・議員さんそれぞれの考えを聞く事ができ良い会でした。できればもう少し多くの市民が参加できるような工夫をお願い致します。ありがとうございました。(今回の開催通知をもう少し早くいただきたかった。)
- ・元気を出して市民の先頭にたって頑張ってください。
- ・議員から当初の気持ち、また給与等の話しがじかに聞けて良かった。
- ・参加者が少なく残念に思った。連合社自治会では、7日という事で参加者を募っていたのに、2,3日前に変更となった通知をもらいました。それぞれ皆予定を立てていたと思い、参加者の少ない原因は、変更でした。それぞれの連合と話し合い、直前の変更のない日程にして欲しい。
- ・16日(土)の議員定数の話し合いと市民活動サポートセンター、協働のまちづくりフォーラムと時間が同じというように、接点が悪いのかわかりませんが、何かちぐはぐな日程に腹が立ちます。
- ・議員定数は今のままで良いと思う。
- ・議員活動の中で、議員以外の活動時間が多いとのことですが、調査研究等、議会だより以上の報告を望む。
- ・住民サービスの一環として、支所にポケットマネー的余裕な資金を支給できないか。
- ・二重の企業センターの話は地元の自治会に説明をして欲しい。

昨年行われた「市民との意見交換会」で、参加された皆さんからアンケートをいただきました。結果がまとまりましたので報告いたします。
これらの意見は今後の意見交換会や市議会活動の参考とさせていただきます。ありがとうございました。

平成
25
年度

市民との意見交換会
アンケート結果

大町東小学校6年生



議会傍聴

3月4日（一般質問1日目）に、大町東小学校6年生40人の児童が、5日（一般質問2日目）に、大町北小学校6年生71人の児童が、生涯学習のまちづくり出張講座として、市議会傍聴に訪れました。身近な課題を議論している市議会の様子について、様々な感想をいただきましたので、一部ご紹介します。

有料道路が通勤通学の時だけ割引をする。という案がすごく良いと思いました。

難しい話だったけど、みなさんが大町市のために話してくださっていると思うと「ありがとうございます」と思います。ぼくも、分かるようになったらぼくも、考えたいと思います。

わからない言葉もたくさんありましたが、本年度の予算がどのようにつかわれるのかがわかりました。議会は、最初はどのようにやるかわかりませんが、議員さんとのきんちょうしたやりとりの場ということがわかりました。

私たちの他に議会を傍聴している市民の方が少なく残念でした。自分たちの住む大町市のことなので、もっとたくさんの市民の方が傍聴したいと思える議会になればいいなあと思いました。

消費税のお話は、すこし興味をもって聞くことができました。難しかったけど、大きくなったら意味が分かってくると思うのでそれまで、メモしたものを、とっておこうと思いました。

僕も、将来このようなことに参加することになったら、大町市の議員さんの様にどうどうと意見を述べたいです。

質問されてすぐ答えられたり、ばんばん意見をいってすごいなあと思いました。税金のことなどいろいろわかりました。

重要な会議だったけど、話がむずかしくて分かりませんでした。防災対策の話などは、熱心に話し合っている姿が伝わりました。

ケーブルテレビで見たことはあったけど、生で見たら、予想とちがうことをやっていました。

議員の方の質問の時間が決まっていて、それ以上は話せないという事にはびっくりしました。なので、議員の人は時間が制限されているという事で時間によって内容を変えたりしなければいけないので大変そうだなと思いました。

どの議員さんも真けんな表情で議会に参加し、自分の考え、意見をしっかり述べていて僕はそんな所をまねしたいと思いました。

ぼくたちも児童総会という会をやっていて、少し身近に感じました。

議員さんや、委員の方たちが、メモをしていたり、話をうなずきながら聞いていて、すごくきんちょう感がありました。

今回話しあっていた問題点の話しを聞いて難しいなあ、こんな問題があったんだと私が考えた事のなかった事がいっぱいあってびっくりしました。

大町北小学校6年生



議員の人たちが真けんに大町を守ろうとしている事はしつかりと伝わってきました。

大人になったら、住んでいる町をよりよくする活動などに参加できるようにしたいです。

こんなに近くでそういう話し合いを聞く機会は無いと思うし、とても良い勉強になったと思います。

大人になったら話の内容や言葉の意味が分かってるかもしれないので、大人になったらもう一回見てみたいです。

市民のかけでいつのまに第5位になったりと知らない所で考えてすごいと思った。私たちにできることを習ってしっかり町づくりしていきたいです。

私も、大町市をより明るくするため、あいさつなどで、できることをやりたいなと思います。これからも大町市のためによりよくおねがいします。

市議会では、私たちが日常生活を明るく過ごせるように、話し合ってくれていることがわかりました。

一人一人の議員さんや各委員会の人が自分の役割からの意見を的確に質問・応答しているのはすごいと思った。大町市の安心・安全、これからの未来を考えて話し合っている人がいるんだと知りました。

インフラとかTPPとか、よくテレビで聞く言葉が出てましたね。国会でやるのも、大町市でやる議会も共通するワードが出てくるんですね。

将来、議員さんみたいな立派な人にはなれないと思うけど、自分の町を大切に出来る人になりたいと思いました。

大町市民のことを必死に考えてくださっていたことがよくわかりました。これからの授業にいかしていきたいと思います。

いままで、ふ通に暮らしていて、大町市のことがどのようなじょうきょうだったのかわかりました。

今、若い人が少なくなっていると知っておどろきました。若い人が減ると、働く人が減ってお金がどんどんなくなってしまうからです。ぼく達は、ぼく達に出来る事をしっかりやりたいです。

何か大きな事を進めるためには話し合いが大事だとわかりました。ぼくも、市民としての意見を持ち、大町市がもっとよくなるように努めていきたいです。

市議会の傍聴におでかけください

大町市議会傍聴規則に基づき、本会議・全員協議会・各常任委員会の傍聴ができます。詳しい日程等については大町市ホームページ、または議会事務局までお問い合わせください。

大町市議会事務局 電話 0261-22-1139

次の定例会は
平成26年6月です。

子育て支援と定住化促進で 大町市の活性化を



した。いすみ市定住促進協議会は、委員23名で、移住者・商工会・不動産業者・行政などによって構成されており、官民連携によるシンクタンクの組織であり、移住・定住施策の企画・検討を行っています。具体的な事業は、①移住相談案内所「いすみ暮らしサロン」の運営、②首都圏でのセミナー・出張移住相談の実施、③移住者向けの農業基盤講座を実施しています。サ

ロンは、移住者によって運営されており、いつでも相談できる体制が整っています。週末には行政職員等も入り、人数を増やして移住相談に対応していました。

また、NPO いすみライフスタイル研究所へ情報発信事情を委託し、民間の活力、企画・アイデアを活用していました。具体的な事業としては、①移住者向けの体験交流プログラムの実施、②田舎暮らし情報センター開設、③インターネットや広報誌・チラシなど活用した情報発信を行っています。体験交流プログラムでは、「古民家ライフスタイルツアー」「そば打ち体験、そばの種まき」「手前味噌をつくるこ」など、テ

マをもったツアーを企画していましたが、定住化事業を行うにあたっては、地元の歴史や経験、移住者の感覚の両方を活かしていくことが大切だと再認識しました。

大町市は、他市と比較すると特に人口減少が激しいところです。子育て支援、定住化政策の両面から、大町市の人口を増やすために、市議会としても引き続き取り組んでいきたいと考えています。

大町市議会では、特に重要な課題について全議員で研修を行っています。本年度は、子育て支援、定住対策を学ぶために、1月30・31日に、茨城県神栖市と千葉県いすみ市に視察に行きました。

神栖市は、人口約9万5千人で、子育てガイドブックをつくり、総合的にサポートしていました。独自事業である「第3子以降就学前保育無料事業」では、1子、2子が18歳未満であれば、第3子の保育料を無料にし、保護者の経済的負担を減らし、子どもを生み育てる環境づくりを推進していました。

いすみ市は、人口4万1千人ほどの規模で、主に定住対策を研修しま

また、NPO いすみライフスタイル研究所へ情報発信事情を委託し、民間の活力、企画・アイデアを活用していました。具体的な事業としては、①移住者向けの体験交流プログラムの実施、②田舎暮らし情報センター開設、③インターネットや広報誌・チラシなど活用した情報発信を行っています。体験交流プログラムでは、「古民家ライフスタイルツアー」「そば打ち体験、そばの種まき」「手前味噌をつくるこ」など、テ



編集後記

例年、この頃になると引越しをよく見かけます。春は出会いと別れの季節であり、大学や就職で大町市を後にする若者達や、同時に官公庁の職員など大町市に赴任して来られる方もいます。さて、昨年度大町市は『住みたい田舎』の全国5位にランクされました。市では移り住みたい人のために定住促進の説明会や空き家の斡旋の他、イターン・Uターン奨励商品券や、子育て世代を応援する商品券贈呈など定住促進施策を積極的にに行い、社会動態(人口の転入・転出の差)がプラスになりました。市民一人ひとりの声掛けや、おもてなしの心のランクであってほしいと思います。

私も、他県で何回か住居を替えましたが、そのたび温かい声掛けがあり異郷になじむことができました。声掛けには多少の勇気が必要ですが、大町市民は温かな気持ちを持っているはず。住み慣れた土地を後に移住するには、大きなエネルギーと決意が必要です。移られてから、大町市を良くするために活動されている人達に私はよく出会います。大町市を愛し、自然を見直し、大町市の良さを引き出そうと多くのイベントに参加していただいています。さらに輝く大町市づくりに共に頑張っていきましょう。

(神社)